
「頭頸部腫瘍科病棟におけるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）アウトブレイク MRSA 伝播因子と対策の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療録を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2024 年 1 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日の期間に埼玉医科大学国際医療センターに入院していた頭頸部腫瘍科病棟の患者さんの中で、鼻腔内や痰などからメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(以下、MRSA)が検出された患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

MRSA のアウトブレイクは多種多様な原因が報告されています。しかし、多くの医療機関でアウトブレイクの関連因子が判明せず、対応に難渋することがあります。そのため、アウトブレイクの因子と対応方法を検討することは重要なことです。2024 年に頭頸部腫瘍科病棟で対応した MRSA アウトブレイクについて、関連因子と対策について明らかにすることで、今後の MRSA アウトブレイクの予防に繋げることができる可能性があります。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025 年 7 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から、約 1 か月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

培養検査データ、診療記録を用います。

年齢、性別、病室、診療科、病名、入院歴、培養検査結果、手術の有無、気管孔の有無、日常生活動作（ADL）、ネブライザー使用の有無、喀痰吸引の有無、経管栄養の有無、処置室使用の有無

その他、患者さんと環境培養から検出された MRSA の遺伝子解析（POT 法）結果

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者

である光武耕太郎が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

研究期間・対象の中で、MRSA が検出された患者さんの培養検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学国際医療センター 感染対策室 鴨下 文貴（研究代表者）
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター 感染対策室 小野 誠
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター 感染対策室 久保沢 千恵
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター 感染対策室 関 雅文
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター 感染対策室 光武 耕太郎（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯俊昭

5. 試料・情報の提供方法等について

データ管理は、パスワード入力要でセキュリティソフトが入ったデスクトップパソコンとします。パソコンは施錠可能な感染対策室内で保管します。

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 感染対策室 鴨下 文貴

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

メールアドレス：kamo1031@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：頭頸部腫瘍科病棟におけるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）アウトブレイク
MRSA 伝播因子と対策の検討

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 感染対策室 光武 耕太郎